

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

取組 (3) 学習指導の充実 (4) 教員の資質・能力の向上

◎理科専科指導の取組

- ・ 小学校・中学校の理科における円滑な接続
- ・ 指導方法・教材等の工夫・改善



【理科専科指導の状況（抜粋）】

成果

(児童生徒にとっての成果)

- ① 専門性を生かした授業
 - ・ 学習意欲の高まり
 - ・ 充実した実験・観察や体験活動
 - ・ 丁寧な振り返りによる理解の深まり
 - ・ 知識及び技能の確実な定着
 - ・ 実生活と結び付けた学習指導の工夫
 - ・ 子どもの発想を生かした学習指導
 - ・ 様々な学び方の経験
- ② 中学校へのつながり（中学教員が理科専科担当の場合）
 - ・ 教科担任制への慣れ
 - ・ 中1ギャップ解消の一助
 - ・ 中学校での学習や生活の情報提供
 - ・ 引継ぎへの活用

(教員にとっての成果)

- ① 複数教員による児童理解の深まり
 - ・ 専科教員の視点からの児童理解
 - ・ 学級担任との情報共有による多面的な児童理解
- ② 小中のつながりを意識した授業づくり
 - ・ 見方・考え方を働かせた学習指導の充実
- ③ 学級担任の空き時間の確保
 - ・ 他教科等の教材研究や行事の準備等
 - ・ 働き方改革の推進
- ④ 理科備品・薬品の管理
 - ・ 専門的知識を生かして、短時間で丁寧に

質の高い教育活動を持続的に行う働き方改革の実施

取組

(3) 組織体制の構築 (4) 業務の効率化に向けた取組の充実

◎名寄市教育改善プロジェクト委員会の取組

- ・各学校コアチーム（働き方改革推進委員会）を中核としたNayoro Star Action（名寄市働き方改革指標）の実践と検証
- ・部活動改革の推進
NAYOROスタイルの推進
部活動バス、ICTスマートコーチ、部活動指導員の配置

成果

- ・部活動指導員等と顧問の連携により教員の負担軽減
- ・部活動バスにより保護者の送迎に係る負担を軽減、及び生徒の活動の場を保障
- ・NAYOROスタイル部活動改革推進事業推進計画により今後の方向性を共有

持続可能な部活動

両方の実現

教師の負担軽減

国が示した具体的な方策

1 休日の部活動の段階的な地域移行

- (1) 休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保
- (2) 保護者による費用負担、
地方自治体による減免措置等と国による支援
- (3) 拠点校（地域）における実践研究

2 合理的で効果的な部活動の推進

- (1) 合同部活動の推進
- (2) ICT活用の推進
- (3) 地方大会の在り方整理（民間団体の中体連への参加）

令和7年度末までに
休日の部活動を
地域移行していく！

※平日の部活動の地域移行はできるところから取り組む。
（運動部活動の地域移行に関する検討会議 令和4年6月6日スポーツ庁）

【部活動改革の目標と具体策】

【部活動指導員・特別部活動指導員】

- 市内各校で活用
- 令和4年度は30名の部活動指導員・特別部活動指導員が登録済
- バレーボール・バスケットボール・卓球・柔道・剣道・スキー競技等
- 新規の部活動指導員を希望する部活動が増加

【部活動バス】

- 市内各校で活用
- 合同チームとして活動している部活動で活用
- 導入部活動（バレーボール・バスケットボール・野球）

【ICT部活動支援事業】

- 市内3校での活用
- 野球・ソフトテニス・バレーボール・バスケットボール

こちらのQRコード
から詳細をご覧
いただけます！↓↓↓



【部活動改革の取組内容】